

会 議 議 事 録

会 議 名	第2回 学校関係者評価委員会	専門学校 東京工科自動車大学校
開催日時	平成26年11月5日（水） 18時～20時	
会 場	専門学校東京工科自動車大学校 123教室	
参 加 者	委員	7人 出席6人 欠席1人 (参加者) 浅古純一・及川順一朗・田中洋子・齋藤昭男 沼田勇・佐々木洋文 (欠席者) 大石 安孝
	事務局	3人 佐藤康夫・松村道隆・金澤晃男
会 議 録	<p>1. 校長あいさつ 佐藤校長より、本学校関係者評価委員会開催に向けての挨拶が話された。</p> <p>2. 委員の紹介、委員会成立の確認 委員の紹介および会則第5条の基づき、出席者が委員総数の過半の出席を満たしているため成立していることを確認した。</p> <p>3. 本日の議長について 出席者全員出席により、会議が成立する事が事務局より報告され、議長に委員長の浅古氏、書記に及川氏が選任された。</p> <p>4. 議事</p> <p>○第1号議案 平成26年度第1回学校関係者評価委員会議事録確認 [資料A] 佐藤校長より、資料A（第1回学校関係者評価委員会議事録）に沿って前回議事録の確認が行われた。</p> <p>○第2号議案 公開情報更新について [資料B・資料C] 事務局金澤より、資料Cにより平成26年度に更新した公開情報の説明が行われた。現在公開している「公開情報」にどのような項目があるかを、資料Bを用いて佐藤校長より説明が行われた。また、資料に公開情報のURLの記載がなく、ホワイトボードURLに書き、資料への追記をお願いした。 配布資料に関して、「公開情報（スケジュール）」とあるが、更新情報（履歴）ではないかとの意見があり、資料B・資料Cのタイトルが紛らわしいので、修正する事とした。また、今後、年度および更新日時も入れる事とした。</p> <p>○第3号議案 平成26年度の取り組みに関する進捗状況 [資料B]</p>	

平成26年度の進捗状況のうち、資格合格率等に関しては年度の途中なので結果が出ている物についての途中経過として以下の項目の報告が行われた。

○就職内定率

1級課程8月末目標100% 8月末現在、100%

2級課程8月末目標 80% 8月末現在、 80%

※両課程とも目標達成している。

○次年度就職学生への取り組み

①企業研修

東京海上・スバル・日産等において次年度就職学生を対象とし、授業以外の時間を使って実施をした。

②就職プログラムの実施

3期は、作文・SPI・履歴書作成を実施、4期・5期は面接練習、企業研究会を実施予定。

○国家資格合格率

年度途中の為、結果の出ている資格に関して途中報告

①危険物乙種4類

1回目の合格率は60.1%。合格していない学生は、再受験する事によって、年度末目標80%をクリアする事ができるレベルにある。

②ソーシャル検定中級

合格率68.1%であり、全国平均60.5%を上回る事ができた。

③ソーシャル検定上級

合格率35.7%であり、全国平均31.7%を上回る事ができた。

○平成25年度学校関係者評価課題

①実習スキル向上

教育課程編成委員会においても同様の意見があり、それに対して「実践力評価委員会」を学内に設置した。中野校では、9月12日に委員会を実施し、今年度は「安全・基礎作業」を重点に置く。

②安全・基礎作業について

年内に改善案を作成して、5期の授業で試験的に実施をする。問題点を洗い出し、来年度から全授業で統一した見解で実施していく。

③学生の意欲を盛り上げるイベント

10月18日・19日の学園祭において「タイヤローテーション大会」が非常に盛り上がり、授業の成果・チームワーク等、安全に作業をする大事さを理解させることができた。車に対する仕事の重要性を理解させることも出来た。

④国家試験の合格目標

9月18日に1級委員会を実施。100%目標は、100%いかなければマイナス評価になる。現在、95%目標であるが、限りなく100%に近づけるように今後検討していきたい。

⑤教員FDについて

各企業様の協力によって、数多く実施する事ができた。

⑥卒業生の動向調査

卒業生の数が多いので、単年でできるものではない。企画部が計画を立て、10月の幹部会で検討する。

⑦地域貢献のポイント

今年度の取り組みを反映した自己評価を行う。

※企業と連携した職業意識の醸成

企業インターンシップ（4年生）・ダイハツ技術セミナー（3年生）・マツダ技術セミナー（1年生）・社会保険（年金）セミナー（1年生）に関して資料を元に説明がなされた。

※地域活動への参加

昨年の学校関係者評価委員会で、学校も地域防災に関わりをもって欲しいとの話があり、6月29日、文園町会での防災訓練に教員・学生が参加した。

その他、文園祭、文園ランド祭、昭和地区祭に参加。

質疑) 資料のまとめ方に関して

大項目：平成26年度事業計画の進捗状況

中項目：就職・資格・平成25年度学校関係者評価指摘事項・地域活動等



小項目：実習スキル向上、安全・基礎作業等

上記のように、資料を整理した方が、わかりやすいのではないかと

もう一度、段組みを作りなおした方が良い。

応答) 再度、資料を見直す。

質疑) 就職状況に関して

資料5ページの表は、内定者と決定者の列の位置が逆ではないか？内定→決定が一般的な流れである。また、資料は8月末であり、最新の進捗状況も提示する必要がある。

応答) 再度、資料を見直す。

質疑) 資格試験に関して

各試験の数値が最新数値なのか途中経過なのかがわからない。

応答) 状況がわかるように資料を作成する。

○第4号議案 学校関係者評価委員会の進め方 [資料B・資料D]

平成26年度の自己点検評価報告書は3月に作成を行う。それを委員の方々の承認を受けてから提出したい。そこで、作成した自己評価点検報告書の承認を委員長から受け、その後各委員に郵送し書面で確認して頂く。委員の評価を加えて提出版としたい。

質疑) 自己評価報告をするときは委員の任期が切れているが問題ないか？

応答) 任期は3月31日までである為、3月15日までに委員長の確認をもらい、

3月20日までに委員宛に発送し月末までにご確認して頂く。任期中に承認を得たい。

質疑) 学校関係者評価委員の2年間のスケジュールマップみたいな物が必要ではないか?

応答) 交通整理をして、委員の方々に提示をします。

○第5号議案 その他意見交換等

佐々木：産業振興（中野にぎわいフェスタ）に大学の参加があったが、専門学校の参加が無かった。学生の有志を参加させる事ができないか？大学が中心になってしまっている状態。

中野物知り博士（中野区検定）や中野新人監督映画祭（3日間で80本）等、若い人たちが目を耀かせるような企画に参加する事が学校のいい宣伝になるとおもう。

佐藤：佐々木さんから是非声をかけて頂きたい。

浅古：何もない所から作り上げていく仕事なので、大変だと思うが、形にするまで頑張ってもらいたい。

及川：佐々木委員と同じで、資料の順番を直してわかりやすくした方が良い。

概要から全体マップ等、わかりやすい資料を作ってほしい。「学校関係者評価委員の仕事とは？」といった資料が用意されていれば良いと思う。

田中：お祭りの神酒所を作るのに協力を頂いた。楽しくお祭りができた。

防災訓練を学校と一緒にやってみたい。3号館地下に貯水槽がある。あれを使った消火訓練をやりたい。その貯水槽は、3号館を建てる時の条件として作っている。11月9日に総合防災訓練に参加できるか？

佐藤：事前に日程が分かるのであれば調整する事が可能である。

沼田：資料の修正する部分は多くある。資料Bの7ページに資格の記述があるが、他の国家資格に関しては、別途出てくるのか？

佐藤：現在集計できているのが3つであり、随時出していく。

齊藤：インターンシップや企業セミナー等、受けた学生がどのような評価（感想）を持っているのか？を知りたい。学生の意見を聞くことで次につなげたい。

佐藤：学生は授業評価を行っている。最後に満足度調査をおこなっている。+αでコメント。企業セミナー等は、通常の授業と異なった把握をしている為、評価は無い。通常の授業評価は公開できる。

インターンシップは報告会が行われているが、企業セミナーの評価は十分に行われていない。

浅古：学校のスタンスは授業をしっかり行う。国家試験に合格。就職。イベントの評価は難しい。評価基準は異なる。

田中：現在、中学生にボランティアをやらせている。今年から全員参加にした。地域に参加する中学生が変わってきた。「ありがとう」という言葉を聞くことが

ないようで、声をかけるとすごく嬉しい。

佐藤：地域での活動が経験になり、地域活動への参加が企業で生かす事ができる事を伝えて手上げ式で行っている。

浅古：学生に必要な物、「志」。「志」があればあるほど、社会に出で落胆する。それを奮起するエネルギーも「志」。

このような活動に参加していない卒業生が集まる切掛け。ロードマップを作る（そこまでは頑張る！）みたいな、3年後・5年後の自分はどうなっている？タイムカプセルを作ってそれを開けるイベントがあると良い。

沼田：学園祭に女性スタッフを参加させた。感想として活気があってよかった。女性に見てもらって評価を頂く。

佐藤：12月5日にプロジェクトセミナー発表会を実施する。

是非参加して頂きたい。審査員として評価をして頂きたい。ご検討頂きたい。

各委員から出席の可否を事務局に連絡する事とし、以上をもって閉会となった

以上